

Mizuho Daily Market Report

2023/12/15

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	142.03	141.89	▲1.00	▲2.24
EUR	1.0881	1.0993	+0.0119	+0.0199
AUD	0.6710	0.6699	+0.0037	+0.0097
SGD	1.3301	1.3274	▲0.0057	▲0.0118
CNY	7.1379	7.1119	▲0.0589	▲0.0367
MYR	4.6700	4.6725	▲0.0350	▲0.0028
THB	35.11	35.03	▲0.77	▲0.16
IDR	15505	15497	▲163	▲18
PHP	55.80	55.80	▲0.28	+0.49
INR	83.36	83.33	▲0.08	▲0.03
VND	24241	24254	▲24	▲27

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.921%	▲9.6 bp	▲22.9 bp
日本(10年)	0.674%	▲2.0 bp	▲8.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.119%	▲5.4 bp	▲7.2 bp
オーストラリア(5年)	3.794%	▲18.3 bp	▲17.8 bp
シンガポール(5年)	2.683%	▲14.5 bp	▲15.5 bp
中国(5年)	2.524%	▲0.5 bp	▲3.8 bp
マレーシア(5年)	3.538%	▲10.3 bp	▲2.8 bp
タイ(5年)	2.443%	▲7.8 bp	▲7.4 bp
インドネシア(5年)	6.526%	▲16.9 bp	▲1.5 bp
フィリピン(5年)	5.906%	▲14.0 bp	▲11.6 bp
インド(5年)	7.165%	▲5.3 bp	▲5.1 bp
ベトナム(5年)	1.700%	▲20.0 bp	▲20.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,248.35	+0.4%	+3.1%
N225(日本)	32,686.25	▲0.7%	▲0.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,539.16	+0.2%	+1.5%
ASX(オーストラリア)	4,176.90	+1.6%	+2.0%
FTSE(シンガポール)	3,122.95	+0.6%	+1.6%
SSEC(中国)	2,958.99	▲0.3%	▲0.2%
KLSE(マレーシア)	70,514.20	+1.3%	+1.4%
SETI(タイ)	7,176.02	+1.4%	+0.6%
JKSE(インドネシア)	1,456.26	+0.6%	+0.9%
PSE(フィリピン)	6,410.48	+2.5%	+2.8%
SENSEX(インド)	1,378.94	+1.5%	+0.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,110.13	▲0.4%	▲1.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	264.31	+2.0%	+1.4%
金	2,036.36	+0.4%	+0.4%
原油(WTI)	71.58	+3.0%	+3.2%
銅	8,460.51	+2.7%	+2.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	142.00	—	144.50
EUR/USD	1.0840	—	1.1050
AUD/USD	0.6530	—	0.6720
USD/SGD	1.3220	—	1.3370
USD/CNY	7.0950	—	7.1400
USD/INR	4.6400	—	4.7020
USD/THB	34.60	—	36.20
USD/IDR	15450	—	15680
USD/PHP	55.40	—	56.30
USD/VND	83.05	—	83.60
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は142円台後半でオープン。前日のFOMCを受けた米金利低下を背景にドル円は軟調推移。東京正午過ぎには20年債入札が弱めの結果となったことで円金利が上昇して円買いが勢い付き、140円台後半まで下落した。一巡後は141円台後半まで持ち直し、141円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は堅調推移。FOMC後のドル安の流れを受けアジア通貨は概ね上昇した。また、昨日はフィリピン中銀がインフレ鈍化を受けて大方の予想通り2会連続で政策金利を6.50%に据え置き、インフレのリスクは引き続き上方向にあり引締めの政策を維持するとして、ペソへの影響は限定的となった。

海外市場のドル円は141円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米11月小売売上高(前月比)、コア小売売上高は一部予想に反して共に予想を上回る結果となる。同時に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数も予想より良好な内容を受け、買いが優勢となり、142円台前半まで上昇。しかし、その後は米金利低下が上値を抑え、141円台前半まで反落する。NY午後には低下していた米金利が再度上昇する動きを横目に小幅反発し、142円台を付けるも、その後失速し、141円台後半でクロス。また、昨日はECB理事会が開催され主要政策金利を4.50%に据え置くことを決定した。

【金利】

金利市場は長期を中心に低下しイールドカーブがさらにフラット化した。NY朝方に発表された11月小売売上高、新規失業保険申請件数、および輸入物価指数などは全体的に強めの数字となったが、前日のFOMCのハ派な内容を受け、債券買い優勢が持続し、引けまで金利低下基調は続いた。10年債の利回りは、4%を割り込み8月以来の水準まで下げた。

【予想】

本日のドル円は上値の重い推移を予想。昨日は一時140円台まで下落した後緩やかに水準を戻しておりFOMC後のドル売りには一服感が見られてはいるものの、来年の利下げ観測が強く意識される中ではドル買いの動きは控えられやすいだろう。来週の日銀金融政策決定会合に対する警戒も上値を押し下げる要因となりそう。

【本日の予定】

- (日本) 10月 第3次産業活動指数
- (日本) 11月 全国百貨店売上高 / 東京地区百貨店売上高
- (アジア) 10月 フィリピン 海外フィリピン労働者送金
- (アジア) 11月 インドネシア 国内自動車販売
- (アジア) 11月 インドネシア 貿易収支
- (アジア) 11月 中国 固定資産投資 / 不動産投資 / 調査失業率
- (アジア) 11月 中国 新築住宅価格
- (アジア) 11月 中国 鉱工業生産 / 小売売上高
- (アジア) 中国 MLF(1Y)
- (欧州) 10月 ユーロ圏 貿易収支
- (欧州) 12月 ユーロ圏 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
- (欧州) 12月 独 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
- (欧州) 12月 英 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
- (米国) 11月 製造業
- (米国) 11月 鉱工業生産 / 設備稼働率
- (米国) 12月 ニューヨーク連銀製造業景気指数
- (米国) 12月 製造業PMI / サービス業PMI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。